

## 美郷町合併15周年記念事業「第3回美郷町所蔵品展」

### 美郷伝来の名品 — 弥生から現代 —

美郷町学友館では現在、第3回美郷町所蔵品展「美郷伝来の名品—弥生から現代—」を開催中です。美郷町合併15周年記念事業の本展覧会では、本町の弥生時代から現代までの町所蔵品を展示しています。町内の川端山皿遺跡から出土した弥生土器をはじめ、町の先人や先人等と親交があった文化人・芸術家、町出身の芸術家等の書や絵など、町所蔵の歴史資料や芸術作品の名品の展示を通して、美郷の歴史と文化の再認識と創造につなげます。



展覧会  
の詳細

期 間 ● 2月24日(月・休)まで 休館日 ● 毎週月曜日  
 会 場 ● 美郷町学友館 観覧料 ● 一般:300円 高校生以下:無料  
 開館時間 ● 午前9時～午後5時 (15名以上の団体は1名につき200円)  
 (入館は午後4時30分まで) 期 ● 美郷町学友館 ☎0187(84)4040

### 日ごろの感謝の気持ちを込めて

## 美郷中学校がロートピア緑泉へ車いすを寄贈

美郷中学校では学校祭を「普段お世話になっている地域・社会の皆さんへの恩返しのお礼」と位置付け、そこで得た収益金を募金や福祉施設への寄贈にあてています。

12月19日には、3年生で前生徒会副会長の折本弥寛さん、2年生で現生徒会長の高橋迅さんがロートピア緑泉を訪問し、収益金で購入した車いすを寄贈しました。二人は取材に対し、「職場体験やボランティア活動でお世話になっていて、車いすの寄贈という形で恩返しができてよかった」と話しました。



### 美郷中学校がキャリア教育優良学校文部科学大臣表彰を受賞

美郷中学校では、ふるさと・キャリア教育を教育活動の柱に据え、ふるさと美郷への思いや自分の生き方を語ることができる生徒の育成に取り組んでいます。この取り組みが評価され、1月15日に国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)にて開催された表彰式において、文部科学大臣表彰を受賞しました。



### OBの庄司さん(武蔵川部屋)も参加

## 美郷町相撲連盟新年初稽古

1月1日、美郷町相撲連盟(伊藤福章会長)の新年初稽古が美郷中学校相撲道場で行われ、美郷相撲スポーツ少年団をはじめ、美郷中学校相撲部やそのOBなどを合わせた約30名が参加しました。

当日は本番さながらの取組が行われたほか、大相撲で活躍している庄司さんが後輩力士に胸を貸す場面もありました。初稽古終了後の取材で庄司さんは「今日みたいな積極的な稽古を続けていけば絶対に強くなると思うのでこれからも頑張ってください」と話し、後輩たちへエールを送りました。



### 新春恒例 囲碁・将棋大会

1月11日、新春恒例の囲碁・将棋大会が美郷町中央ふれあい館で開催されました。当日は町内の13名が参加し、日ごろ鍛えた腕を競い合いました。

#### ■囲碁大会

優勝 深澤 廣さん(湯竹)  
 準優勝 飯田 義信さん(後三年)  
 第3位 高橋 冬樹さん(一丈木)

#### ■将棋大会

優勝 熊谷 信悟さん(新町)  
 準優勝 高橋 茂さん(下窪田)  
 第3位 木元 喜代人さん(東高方町)

### JAL美郷連携プロジェクト

## JAL空育® ~折り紙ヒコーキ教室~

1月16日、「JAL空育®~折り紙ヒコーキ教室~」が美郷町総合体育館'リリオスで開催され、町内各こども園の5歳児合わせて103名が参加しました。

折り紙ヒコーキ協会が認定する指導資格を持った日本航空株式会社(JAL)の社員から上手な飛ばし方について教わった園児たちは、夢中になって紙ヒコーキを飛ばしていました。参加した園児からは「とても楽しかった」「遠くまで飛ばせてうれしかった」といった感想が聞かれました。



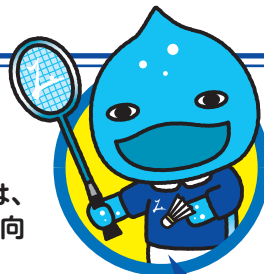
MISATOPICS

# 町の話



# 東京2020オリンピックを楽しもう!

東京2020オリンピックの開幕まで残り5カ月となりました。こちらのコーナーでは、オリンピックの競技種目や美郷町の取り組みについてご紹介します。オリンピックに向けて準備を万全にし、本番を皆さんで楽しみましょう!



## 第1回は「オリンピックチケット抽選会の結果」についてお知らせするよ!

夏季オリンピックに限ると56年振りの開催となる東京2020オリンピック。今大会は史上最多の33競技・339種目が実施され、開会日前に競技が始まるソフトボールとサッカーを除き、開会式が行われる7月24日から競技が開始されます。タイ王国のホストタウンとして美郷町が注目しているバドミントンは、7月25日より競技が行われます。

このたび美郷町では、タイ王国のホストタウンとしてバドミントン競技会場でタイ王国代表選手を応援する企画を用意しました。その観戦者募集には定員を超える応募があり、1月17日にチケットの公開抽選会を行った結果、16名の方が当選しました。大会の組み合わせ次第ではタイ王国代表選手と日本代表選手の試合も予想され、応援にも期待が膨らみます。



### COLUMN WINDS コラム

## 風

美郷町長  
松田知己



美郷町相撲連盟新年初稽古にてあいさつをする松田町長

### 引き出す機会

まさかこんな冬になろうとは、誰もが予想していなかったと思います。生活はとても楽ですのでありがたい訳ですが、一方、雪に関わる仕事の方は大変です。「どうせ、いずれは雪が降るよ。それまでの楽ちん」と思っていた年末年始の無邪気さから一転、今は今後の影響が心配な複雑な気持ちになっているところです。

年末は特に、無邪気さゆえのまつたり気分やテレビ三昧の日々を過ごし、私は映画や音楽番組を楽しみました。井上陽水さんの特番では多くの井上陽水リスペクト歌手が登場しましたが、そのお一人が松任谷由美さんでした。

た。テレビの力は凄いですね、私はユーミンの話を聞いているうちに、自分の「卒業写真」を見たくなりました。

そこで本部屋に向かい小学、中学、高校、大学の卒業アルバムを探し出し、「若いなあ、みんな」と感慨に耽るとともに、沸々と沸き上がるそれぞれの時期の記憶に暫し浸りました。改めて、大切にすべきモノを大切にすること、大切にするべきモノを眺めたから引き出された記憶が確実にあったからです。

日本社会は大量消費の社会です。そしてそれを支えているのが

モノを捨てることです。積極的に賛成したくありませんが、それを否定もできません。一方、ワンガリ・マータイさんが世界に広めた「もったいない」思想は、持続性ある社会には絶対必要であると私は思っています。二つをガツチャンコすると出てくる答えは、「大切にすべきを大切にすることの大切さ」。この答えは、個人も組織も地域もすべて共通だろうと思います。美郷町でも、そこはこれまで意識してきているつもりで、だからこそ人との関係性、モノの保存保管などを意識した行政運営に努めてきているつもりです。

現在、学友館で開催中の「美郷伝来の名品―弥生から現代―」展は、まさにモノについて大切にすべきを大切にしてきた姿です。是非、みなさんにご覧いただきたいと思います。目の前の品々がみなさんのどういう意識や認識を引き出し、未来に向けての意志をどういう形で後押ししてくれるのか、大いに期待したいと思います。